

単元(題材名)	1. かけ算	
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	

### 【到達目標】

知・技	<input type="radio"/> 乗数が1増減すると積が被乗数だけ増減することがわかる。
	<input type="radio"/> 乗法において、交換法則や分配法則が成り立つことがわかる。
	<input type="radio"/> 乗数や被乗数が10の計算のしかたがわかり、計算することができる。
	<input type="radio"/> 乗数や被乗数が0の乗法の意味がわかり、その積が常に0であることがわかる。
思・判・表	<input type="radio"/> 被乗数が十いくつかの計算のしかたを考え、説明することができる。
	<input type="radio"/> 乗数や被乗数が0の乗法の意味を考えることができる。
	<input type="radio"/> 乗数や被乗数が10の乗法や乗法のきまりを使って、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="radio"/> 被乗数が十いくつかの計算のしかたを考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

### 【評価規準】

知・技	<input type="radio"/> 乗数が1増減すると積が被乗数だけ増減することを理解している。
	<input type="radio"/> 乗法において、交換法則や分配法則が成り立つことを理解している。
	<input type="radio"/> 乗数や被乗数が10の計算のしかたを理解している。
	<input type="radio"/> 乗数や被乗数が10の計算をしている。
	<input type="radio"/> 乗数や被乗数が0の乗法の意味がわかり、その積が常に0であることを理解している。
	<input type="radio"/> 未知数を□として乗法の式に表し、□を求める方法を理解している。
思・判・表	<input type="radio"/> 被乗数が十いくつかの計算のしかたを考え、説明している。
	<input type="radio"/> 乗数や被乗数が0の乗法の意味を考えている。
	<input type="radio"/> 乗数や被乗数が10の乗法や乗法のきまりを使って、適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="radio"/> 分配法則を活用して、被乗数が十いくつかの計算のしかたを考え、わかりやすく説明する工夫をしている。
	<input type="radio"/> 被乗数の十いくつかを、いくつといくつに分ければよいかを考え、友だちと話し合っている。
	<input type="radio"/> 友だちが考えた計算方法を聞いて、自分の考えを見直している。

単元(題材名)	2. 時こくと時間のもつめ方	
主領域/領域/内容の区分	C 測定	

### 【到達目標】

知・技	<input type="radio"/> ある時刻の一定時間前後の時刻を求めることができる。
	<input type="radio"/> 時刻と時刻の間の時間を求めることができる。
	<input type="radio"/> 時間と時間の和を求めることができる。
	<input type="radio"/> 短い時間の単位「秒」を知り、秒を用いて時間を表すことができる。
	<input type="radio"/> 1分 = 60秒の単位の関係がわかる。
思・判・表	<input type="radio"/> 正時をまたぐ時刻の求め方を考えることができる。
	<input type="radio"/> 正時をまたぐ時間の求め方を考えることができる。
	<input type="radio"/> 合わせた時間が60分以上の時間の求め方を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="radio"/> 時刻や時間に関心を持ち、必要な時刻や時間を求める計算を日常生活に生かそうとする。

### 【評価規準】

知・技	<input type="radio"/> ある時刻の一定時間後の時刻(正時をまたぐ)を求めている。
	<input type="radio"/> ある時刻の一定時間前の時刻(正時をまたぐ)を求めている。
	<input type="radio"/> 時刻と時刻の間の時間を求めている。
	<input type="radio"/> 時間と時間の和を求めている。
	<input type="radio"/> 短い時間の単位「秒」を知り、1秒の長さ確かめている。
	<input type="radio"/> 1分 = 60秒の単位の関係を理解している。
思・判・表	<input type="radio"/> 正時をまたぐ時刻の求め方を考えている。
	<input type="radio"/> 正時をまたぐ時間の求め方を考えている。
	<input type="radio"/> 合わせた時間が60分以上の時間の求め方を考えている。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="radio"/> 時刻や時間に関心を持ち、必要な時刻や時間を求める計算を日常生活に生かそうとしている。

単元(題材名)	3. わり算	
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	

### 【到達目標】

知・技	○ 等分除, 包含除の意味を理解し, その場面を除法の式で表すことができる。
	○ 除法の答えは, 乗法九九を用いて求めることができることを知り, 計算することができる。
	○ 0をわったり, 1でわったりする計算の意味を理解し, 正しく計算することができる。
思・判・表	○ 具体的な場面を通して, 等分除, 包含除の意味や意味の違いを既習の乗法をもとに考えることができる。
	○ 除法を使って, 適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 除法の意味や計算のしかたを考え, 考えたことを友だちと話し合い, 自分の考えを見直してまとめようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 等分除の意味を理解し, その場面を除法の式で表せることを理解している。
	○ 包含除の意味を理解し, その場面を除法の式で表せることを理解している。
	○ わられる数, わる数の用語と意味を理解している。
	○ 除法の答えは, 乗法九九を用いて求めることができることを理解している。
	○ 除法で, 九九1回適用のわりきれの計算をしている。
	○ 被除数が0, 除数が1, 答えが1の除法の意味を理解している。
	○ 被除数が0, 除数が1, 答えが1の除法の計算をしている。
思・判・表	○ 具体的な場面を通して, 等分除の意味を考えている。
	○ 具体的な場面を通して, 包含除の意味を考えている。
	○ 具体的な場面を通して, 等分除, 包含除の違いを既習の乗法をもとに考えている。
	○ 除法を使って, 適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 除法の意味を乗法との関連や具体物の操作などから考え, 説明している。
	○ 除法の計算のしかたを考え, 友だちと話し合っている。

単元(題材名)	4. たし算とひき算の筆算	
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	

### 【到達目標】

知・技	○ 4位数までの加法で、くり上がりが1回、2回、3回の場合の計算方法を理解し、筆算で計算することができる。
	○ 4位数までの減法で、くり下がりが1回、2回、3回の場合の計算方法を理解し、筆算で計算することができる。
思・判・表	○ 4位数までの加法で、くり上がりが3回までの計算方法を2位数の計算をもとに考えることができる。
	○ 4位数までの減法で、くり下がりが3回までの計算方法を2位数の計算をもとに考えることができる。
	○ 加法や減法を使って、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 4位数までの加法で、くり上がりがある計算方法を考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。
	○ 4位数までの減法で、くり下がりがある計算方法を考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ (3位数)+(3位数)で、百の位にくり上がる計算を筆算で計算している。
	○ (3位数)+(3位数)で、十の位、百の位にくり上がる計算を筆算で計算している。
	○ (3位数)+(3位数)で、くり上がり3回の計算を筆算で計算している。
	○ (4位数)+(3・4位数)の計算を筆算で計算している。
	○ (3位数)-(3位数)で、百の位からくり下がる計算を筆算で計算している。
	○ (3位数)-(3位数)で、十の位、百の位からくり下がる計算を筆算で計算している。
	○ (3位数)-(3位数)で、十の位からくり下げられない計算を筆算で計算している。
	○ (4位数)-(3・4位数)の計算を筆算で計算している。
思・判・表	○ 4位数までの加法で、くり上がりがある計算方法を2位数の計算をもとに考えている。
	○ 4位数までの減法で、くり下がりがある計算方法を2位数の計算をもとに考えている。
	○ 加法や減法を使って、適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 4位数までの加法で、くり上がりがある計算方法を考え、説明している。
	○ 4位数までの減法で、くり下がりがある計算方法を考え、説明している。
	○ 友だちが考えた計算方法を聞いて、自分の考えを見直している。

単元(題材名)	5. 長いものの長さのはかり方と表し方	
主領域/領域/内容の区分	C 測定	

### 【到達目標】

知・技	○ 巻尺の必要性や目盛りの読み方, 測定のしかたがわかる。
	○ 巻尺を用いて, 長さの見当をつけているいろいろなものの長さを測定することができ, 巻尺のよさがわかる。
	○ 道のりや距離の用語と意味を理解するとともに, 長さの単位kmを知り, $1\text{km} = 1000\text{m}$ の関係がわかる。
思・判・表	○ 目的に応じて単位や測定計器を考えることができる。
	○ 道のりや距離のちがいを考えて, 道のりや距離を求めることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りの長いものについて測定しようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 巻尺の必要性や目盛りの読み方, 測定のしかたを理解している。
	○ 巻尺を用いて, 長さの見当をつけているいろいろなものの長さを測定している。
	○ 丸いもののまわりを測定するときに便利等, 巻尺のよさを理解している。
	○ 道のりや距離の用語とその意味を理解している。
	○ 長さの単位kmを知り, $1\text{km} = 1000\text{m}$ の関係を理解している。
思・判・表	○ 目的に応じて単位や測定計器を考えている。
	○ 道のりや距離のちがいを考えて, 道のりや距離を求めている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りの長いものについて, 進んで測定している。

単元(題材名)	6. 暗算	
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	

### 【到達目標】

知・技	○ 数の構成や加減法に関して成り立つ性質に着目して、暗算のしかたについて理解する。
	○ 2位数どうしの加法、減法を暗算で計算することができる。
思・判・表	○ 暗算による計算のしかたを考え、説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 暗算のよさに気づき、生活や学習に用いようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 被減数が100の減法の暗算のしかたを理解している。
	○ 2位数どうしの加法と減法の暗算のしかたを考え、暗算をする。
思・判・表	○ 被減数が100の減法の暗算のしかたについて説明している。
	○ 2位数どうしの加法と減法の暗算のしかたを考え、説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 暗算のよさについて学習感想に記述している。
	○ 暗算を生活や学習に用いている。

単元(題材名)	7. あまりのあるわり算	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

### 【到達目標】

知・技	○ 除法で、あまりのある場合の意味とその計算方法について理解し、計算することができる。
	○ 除法のあまりの意味や、あまりと除数の関係がわかる。
	○ あまりのある除法の検算の式を理解し、検算することができる。
思・判・表	○ 除数とあまりの大きさの関係を考え、除数よりあまりが小さくなることを説明することができる。
	○ あまりのある除法を使って、適用問題を解くことができる。
	○ あまりのある除法を適用する場面で、あまりの処理のしかたがわかり、問題を解決することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ あまりのある除法を適用する場面で、あまりの意味や処理のしかたを考え、説明しようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ あまりのある除法の答えも、除数の段の九九を使って求めることを理解している。
	○ あまりのある除法で、あまりは除数より小さいことを理解している。
	○ あまりのある除法の検算の式を理解している。
	○ 検算の式を利用して、あまりのある除法の答えの確かめをしている。
思・判・表	○ 除数とあまりの大きさの関係を考え、除数よりあまりが小さくなることを説明している。
	○ あまりのある除法を使って、適用問題を解いている。
	○ あまりのある除法を適用する場面で、あまりの処理のしかたを考え、問題を解決している。
主体的に学習に取り組む態度	○ あまりのある除法を適用する場面で、あまりの意味や処理のしかたを考え、処理のしかたをわかりやすく説明する工夫をしている。

単元(題材名)	8. 大きい数のしくみ	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

### 【到達目標】

知・技	○ 1億までの数のしくみがわかり、1億までの数を読んだり、書いたりできる。
	○ 数直線の用語を知り、数直線上の1億までの数を読んだり、数直線上に表したりできる。
	○ 大きな数の大小を等号、不等号を使って表すことができる。
	○ ある数を10倍、100倍、1000倍した数や10でわった数の求め方がわかる。
	○ 大きな数をいろいろな見方で表すことができる。
思・判・表	○ 1000を単位として数を相対的にみて、数の構成について考えることができる。
	○ ある数を、数の構成をもとにいろいろな見方で考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 1億までの数を既習の数の捉え方をもとに考え、表現しようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 一万の位までの数のしくみを知り、一万の位までの数を読んだり書いたりしている。
	○ 十万、百万、千万の位を知り、千万の位までの数を読んだり書いたりしている。
	○ 1000を単位として数を相対的にみて、大きな数を表している。
	○ 数直線上の1億までの数を読んだり、数直線上に表したりしている。
	○ 等号、不等号の用語とその意味を理解している。
	○ 大きな数の大小を等号、不等号を使って表している。
	○ ある数を10倍、100倍、1000倍した数や10でわった数の求め方を理解し、求めている。
思・判・表	○ 1000を単位として数を相対的にみて、数の構成について考え、表している。
	○ ある数を、数の構成をもとにいろいろな見方で考え、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 1万を10こ集めた数が10万、10万を10こ集めた数が100万のように、十進位取り記数法をまとめている。

単元(題材名)	9. かけ算の筆算(1)	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

### 【到達目標】

知・技	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(1\text{位数})$ の計算原理がわかる。
	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(1\text{位数})$ の筆算のしかたがわかり、筆算で正しく計算することができる。
	○ 乗法の結合法則が成り立つことがわかり、3口の計算を工夫して計算することができる。
思・判・表	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(1\text{位数})$ の筆算方法を、被乗数を位ごとに分けて計算するしかたと結びつけて考えることができる。
	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(1\text{位数})$ の計算を使って、適用問題を解くことができる。
	○ 乗法の言葉の式やテープ図などを用いて問題を解決することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(1\text{位数})$ の筆算の方法を考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ $(\text{何十, 何百})\times(1\text{位数})$ の計算方法を理解し、計算している。
	○ $(2\text{位数})\times(1\text{位数})$ の計算原理を理解している。
	○ $(2\text{位数})\times(1\text{位数})$ の計算で、部分積がくり上がらない計算を筆算でしている。
	○ $(2\text{位数})\times(1\text{位数})$ の計算で、一の位の部分積がくり上がる計算を筆算でしている。
	○ $(2\text{位数})\times(1\text{位数})$ の計算で、十の位の部分積がくり上がる計算を筆算でしている。
	○ $(2\text{位数})\times(1\text{位数})$ の計算で、一の位、十の位の部分積がくり上がる計算を筆算でしている。
	○ $(2\text{位数})\times(1\text{位数})$ の計算で、部分積を加えたときに百の位にくり上がる計算を筆算でしている。
	○ $(3\text{位数})\times(1\text{位数})$ の計算で、部分積がくり上がらない計算を筆算でしている。
	○ $(3\text{位数})\times(1\text{位数})$ の計算で、一、十、百の位の部分積がくり上がる計算を筆算でしている。
	○ 乗法の結合法則が成り立つことを理解し、3口の計算を工夫して計算している。
思・判・表	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(1\text{位数})$ の筆算方法を考えている。
	○ $(3\text{位数})\times(1\text{位数})$ の計算で、被乗数の十の位が0と一の位が0の筆算方法を考えている。
	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(1\text{位数})$ の計算を使って、適用問題を解いている。
	○ 乗法の言葉の式やテープ図などを用いて問題を解決している。
主体的に学習に取り組む態度	○ $(2\text{位数})\times(1\text{位数})$ の筆算方法を、被乗数を位ごとに分けて計算するしかたと結びつけて考えている。
	○ $(3\text{位数})\times(1\text{位数})$ の筆算方法を、 $(2\text{位数})\times(1\text{位数})$ の筆算方法をもとに考えている。

単元(題材名)	10. 大きい数のわり算, 分数とわり算	
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	

### 【到達目標】

知・技	○ (何十)÷(1位数)=(何十)の計算のしかたがわかり, 計算することができる。
	○ (2位数)÷(1位数)=(2位数)の計算のしかたがわかり, 計算することができる。
	○ ある数の1/4の長さを求めるには, ある数を4でわけることを理解することができる。
思・判・表	○ (何十)÷(1位数)=(何十)の計算のしかたを10をもとにして考えることができる。
	○ (2位数)÷(1位数)=(2位数)の計算(各位整除)のしかたを位ごとに分けて考えることができる。
	○ (2位数)÷(1位数)を使って, 適用問題を解くことができる。
	○ 分数と除法の関係を考え, 問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 数の構成をもとに(何十・2位数)÷(1位数)の計算のしかたを考え, 考えたことを友だちと話し合ったり, 説明したりしようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ (何十)÷(1位数)=(何十)の計算のしかたを理解し, 計算している。
	○ (2位数)÷(1位数)=(2位数)の計算のしかたを理解し, 計算している。
	○ ある数の1/4の長さを求めるには, ある数を4でわけることを理解している。
思・判・表	○ (何十)÷(1位数)=(何十)の計算のしかたを10をもとにして考えている。
	○ (2位数)÷(1位数)=(2位数)の計算(各位整除)のしかたを位ごとに分けて考えている。
	○ (2位数)÷(1位数)を使って, 適用問題を解いている。
	○ 分数と除法の関係を考え, 問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ (何十)÷(1位数)=(何十)の計算のしかたを10をもとにして考え, 友だちと話し合っている。
	○ (2位数)÷(1位数)=(2位数)の計算(各位整除)のしかたを考え, その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。

単元(題材名)	11. 円と球	
主領域／領域／内容の区分	B 図形	

### 【到達目標】

知・技	<input type="checkbox"/> 「円」, 円の「中心」「半径」「直径」の用語とその意味がわかる。
	<input type="checkbox"/> 円の半径と直径の関係がわかる。
	<input type="checkbox"/> コンパスを使って, 円をかいたり, 長さを写し取って長さ比べをしたりできる。
	<input type="checkbox"/> 「球」, 球の「中心」「半径」「直径」の用語とその意味がわかる。
思・判・表	<input type="checkbox"/> 作図などを通して, 円は中心の位置と半径の長さで決まることに着目して, 円の性質について考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> コンパスを使って模様をかき, その美しさを味わおうとする。

### 【評価規準】

知・技	<input type="checkbox"/> 「円」, 円の「中心」「半径」「直径」の用語とその意味を理解している。
	<input type="checkbox"/> 円の半径と直径の関係を理解している。
	<input type="checkbox"/> コンパスを使って, 円をかいている。
	<input type="checkbox"/> コンパスを使って, 長さを写し取って長さを比較している。
	<input type="checkbox"/> 「球」の用語とその意味を理解している。
思・判・表	<input type="checkbox"/> 円は中心の位置と半径の長さで決まることに着目して, 円の性質について考えている。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> コンパスを使って, いろいろな模様を進んでかいている。
	<input type="checkbox"/> 自分でかいた模様や友だちのかいた模様を見て, その美しさを味わおうとしている。

単元(題材名)	12. 小数
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算

**【到達目標】**

知・技	○ かさの測定の操作を通して、端数部分の大きさを表すのに小数が用いられることを知り、小数の表し方、読み方がわかる。
	○ 小数、小数点、整数の用語とその意味がわかる。
	○ かさや長さを小数を用いて単名数で表すことができる。
	○ 小数第一位の用語とその意味を知り、数直線上に表された小数を読んだり、小数を数直線に表したりできる。
	○ 小数の構成や相対的な数について理解するとともに、大小比較ができる。
	○ 小数第一位までの小数の加法、減法の計算原理や方法を理解し、計算することができる。
思・判・表	○ 1つの小数をいろいろな見方で表現することができる。
	○ 小数の加減計算を整数の加減計算をもとに考えることができる。
	○ 小数の加減計算を使って、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 小数の加減計算のしかたについて考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

**【評価規準】**

知・技	○ 小数の使い方を知り、小数の表し方、読み方を理解している。
	○ 小数、小数点、整数の用語とその意味を理解している。
	○ かさや長さを小数を用いて単名数で表している。
	○ 小数第一位の用語とその意味を理解している。
	○ 数直線上に表された小数を読んだり、小数を数直線に表したりしている。
	○ 小数のしくみや相対的な大きさについて理解している。
	○ 小数の大小比較をして、不等号を用いて表している。
	○ 小数第一位までの(純小数)+(純小数)で和が1までの計算をしている。
	○ 小数第一位までの(帯小数)+(帯小数)、(帯小数)+(整数)の計算を筆算でしている。
	○ 小数第一位までの(純小数)+(純小数)の逆の減法や、1から小数をひく減法計算をしている。
	○ 小数第一位までの(帯小数)-(帯小数)、(整数)-(帯小数)の計算を筆算でしている。
	思・判・表
○ 小数の加法計算を整数の加法計算をもとに考えている。	
○ 小数の減法計算を整数の減法計算をもとに考えている。	
○ 小数の加減計算を使って、適用問題を解いている。	
主体的に学習に取り組む態度	○ 1つの小数をどのように表現したらよいかを考え、友だちと話し合っている。
	○ 整数の加法と関連付けて、小数第一位までの加法の計算方法を考え、わかりやすく説明する工夫をしている。
	○ 整数の減法と関連付けて、小数第一位までの減法の計算方法を考え、わかりやすく説明する工夫をしている。

単元(題材名)	13. 重さのたんいとはかり方	
主領域/領域/内容の区分	C 測定	

### 【到達目標】

知・技	<input type="checkbox"/> 重さ比べを通して、重さを量として捉え、重さの単位にgがあることがわかる。
	<input type="checkbox"/> 重さを測定する計器としてはかりがあることを知り、はかりの目盛りの読み方、使い方がわかる。
	<input type="checkbox"/> 重さの単位kgやtを知り、 $1\text{kg} = 1000\text{g}$ や $1\text{t} = 1000\text{kg}$ の関係がわかる。
	<input type="checkbox"/> 重さの単位の関係と既習の長さやかさの単位の関係で似ているところがあることがわかる。
思・判・表	<input type="checkbox"/> 重さについても加法、減法が適用できることを理解し、重さに関する問題を解決することができる。
	<input type="checkbox"/> 重さの単位の関係と既習の長さやかさの単位の関係で、似ているところを説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> ものの重さを量るとき、重さを予想して量感を身につけようとする。
	<input type="checkbox"/> 重さの単位の関係と既習の長さやかさの単位の関係で、似ているところをみつけようとする。

### 【評価規準】

知・技	<input type="checkbox"/> 重さ比べを通して、重さの単位グラム(g)があることを理解している。
	<input type="checkbox"/> 1gは1円玉1個分の重さであることを理解している。
	<input type="checkbox"/> 重さははかりを使って量ることを知り、秤量1kgのはかりの目盛りを読んでいる。
	<input type="checkbox"/> はかりの使い方を理解し、およそ100gと思うものを探して量っている。
	<input type="checkbox"/> 重さの単位キログラム(kg)を知り、 $1\text{kg} = 1000\text{g}$ の関係を理解している。
	<input type="checkbox"/> 秤量2kgのはかりの目盛りの読み方を理解している。
	<input type="checkbox"/> いろいろなものを探して見当をつけて重さを量り、量感をつかんでいる。
	<input type="checkbox"/> 重さの単位トン(t)を知り、 $1\text{t} = 1000\text{kg}$ の関係を理解している。
	<input type="checkbox"/> 長さ、かさ、重さの単位のしくみを理解している。
思・判・表	<input type="checkbox"/> 重さについても加法、減法が適用できることを理解し、重さに関する問題を解決している。
	<input type="checkbox"/> 重さの単位の関係と長さやかさの単位の関係で、似ているところを説明している。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> ものの重さを量るとき、重さを予想して量感を身につけようとしている。
	<input type="checkbox"/> 重さの単位の関係と既習の長さやかさの単位の関係で、似ているところをみつけ、まとめている。

単元(題材名)	14. 分数	
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	

### 【到達目標】

知・技	○ 等分されたいくつ分かの大きさを分数を用いて表すことができる。
	○ 分母、分子の用語とその意味を知り、それらを正しく使うことができる。
	○ 分数を表した数直線をもとに、分数の構成や大きさを理解し、大小比較ができる。
	○ 分数と小数を同じ数直線に表し、 $1/10 = 0.1$ を理解し、分数と小数の大小比較ができる。
	○ 同分母分数の加減法の意味や計算方法を理解し、計算することができる。
思・判・表	○ 分数と小数の関係をもとに、大小比較のしかたを考えることができる。
	○ 同分母の真分数どうしの加法、減法や1から真分数をひく減法の計算方法を考えることができる。
	○ 分数の加減計算を使って、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 分数の加減計算のしかたについて考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。
	○ 分数で表すことよさに気づき、日常生活や学習に用いようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 1mを等分した1つ分の長さを分数で表している。
	○ 分母、分子の用語とその意味を理解し、それらを正しく使っている。
	○ 等分されたいくつ分かの大きさを分数を用いて表している。
	○ 分数を表した数直線をもとに、分数の構成や大きさを理解し、大小を比較している。
	○ 分数を表した数直線をもとに、1より大きい数も数直線上に分数で表している。
	○ 同分母で和が1までの真分数どうしの加法計算をしている。
	○ 同分母で真分数どうしの減法計算をしている。
	○ 1から真分数をひく計算をしている。
思・判・表	○ 分数と小数の関係をもとに、大小比較のしかたを考えている。
	○ 同分母の真分数どうしの加法の計算方法を考え、説明している。
	○ 同分母の真分数どうしの減法の計算方法を考え、説明している。
	○ 1から真分数をひく減法の計算方法を考え、説明している。
	○ 分数の加減計算を使って、適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 整数の加法と関連付けて、同分母で和が1までの真分数どうしの加法の計算方法を考え、その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。
	○ 整数の減法と関連付けて、同分母で真分数どうしの減法の計算方法を考え、その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。
	○ 分数で表すよさについて考え、進んで用いている。

単元(題材名)	15. □を使った式	
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算	

### 【到達目標】

知・技	○ 加法の場面を未知数を□として式や図に表し, □を減法で求めることができる。
	○ 減法の場面を未知数を□として式や図に表し, □を加法で求めることができる。
	○ 乗法の場面を未知数を□として式や図に表し, □を除法で求めることができる。
	○ 除法の場面を未知数を□として式や図に表し, □を乗法で求めることができる。
思・判・表	○ ある事柄について, 数量の関係を□を使った式や図に表し, 加法と減法の相互関係を考えることができる。
	○ ある事柄について, 数量の関係を□を使った式や図に表し, 乗法と除法の相互関係を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ ある事柄について, 未知数を□を使って式や図に表すよさを知り, □を使った式に表そうとしたり, □を求めようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 加法の場面を未知数を□として式や図に表す方法を理解している。
	○ 加法の場面を未知数を□として式や図に表し, □を求める方法を理解している。
	○ 減法の場面を未知数を□として式や図に表す方法を理解している。
	○ 減法の場面を未知数を□として式や図に表し, □を求める方法を理解している。
	○ 乗法の場面を未知数を□として式や図に表す方法を理解している。
	○ 乗法の場面を未知数を□として式や図に表し, □を求める方法を理解している。
	○ 除法の場面を未知数を□として式に表す方法を理解している。
	○ 除法の場面を未知数を□として式に表し, □を求める方法を理解している。
思・判・表	○ 数量の関係を□を使った式や図に表し, 加法と減法の相互関係を考えている。
	○ 数量の関係を□を使った式や図に表し, 乗法と除法の相互関係を考えている。
主体的に学習に取り組む態度	○ ある事柄について, 未知数を□を使って式や図に表すよさを知り, □を使った式に表している。

単元(題材名)	16. かけ算の筆算(2)
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算

### 【到達目標】

知・技	○ 1・2位数や何十に何十をかける乗法の計算原理や方法を理解し、計算することができる。
	○ 2・3位数に2位数をかける乗法の計算原理や方法を理解し、筆算で計算することができる。
	○ 乗法では、乗数を10倍すると積も10倍になることを理解し、計算に適用することができる。
	○ 交換法則を活用し、工夫して手際よく計算することができる。
思・判・表	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(2\text{位数})$ の筆算の方法を、既習の筆算の方法をもとに考えることができる。
	○ 交換法則を活用し、手際よい計算方法を考えることができる。
	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(2\text{位数})$ の計算を使って、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(2\text{位数})$ の筆算の方法を考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 16
	○ 1・2位数や何十に、それぞれ何十をかける計算をしている。
	○ 乗法では、乗数を10倍すると積も10倍になることを理解している。
	○ $(2\text{位数})\times(2\text{位数})$ で部分積が2位数の乗法の計算原理や方法を理解している。
	○ $(2\text{位数})\times(2\text{位数})$ で部分積が2位数の計算を筆算でしている。
	○ $(2\text{位数})\times(2\text{位数})$ で部分積が3位数の乗法の計算原理や方法を理解している。
	○ $(2\text{位数})\times(2\text{位数})$ で部分積が3位数の計算を筆算でしている。
	○ $(3\text{位数})\times(2\text{位数})$ の乗法の計算原理や方法を理解している。
	○ $(3\text{位数})\times(2\text{位数})$ の計算を筆算でしている。
	○ 乗数の末位が0の簡便な筆算のしかたを理解している。
	○ 乗法の交換法則を活用した手際よい筆算のしかたを理解している。
思・判・表	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(2\text{位数})$ の筆算の方法を、既習の筆算の方法をもとに考えている。
	○ 交換法則を活用し、手際よい計算方法を考えている。
	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(2\text{位数})$ の計算を使って、適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ $(2\cdot 3\text{位数})\times(2\text{位数})$ の筆算の方法を、既習の $(2\cdot 3\text{位数})\times(1\text{位数})$ の筆算の方法をもとに考え、説明している。

単元(題材名)	倍の計算	
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	

### 【到達目標】

知・技	○ 何倍かした大きさを求めるには、(もとにする大きさ)×(何倍)で求められることがわかる。
	○ 何倍かを求めるには、(比べる大きさ)÷(もとにする大きさ)で求められることがわかる。
	○ もとにする大きさを求めるときは、図に表したり、□を使って式に表したりすると考えやすくなることがわかる。
思・判・表	○ 図から、何倍かした大きさを求める式を考えることができる。
	○ 図から、何倍かを求める式を考えることができる。
	○ 図から、もとにする大きさを求める式を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 問題を整理して、テープ図に表して解決しようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 何倍かした大きさを求める式を理解している。
	○ 何倍かを求める式を理解している。
	○ もとにする大きさを求める式を理解している。
思・判・表	○ 図から、何倍かした大きさを求める式を考えている。
	○ 図から、何倍かを求める式を考えている。
	○ 図から、もとにする大きさを求める式を考えている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 問題を整理して、進んでテープ図などに表して考え、解決している。

単元(題材名)	17. 三角形と角
主領域／領域／内容の区分	B 図形

### 【到達目標】

知・技	<input type="checkbox"/> 二等辺三角形，正三角形の用語とその定義がわかる。
	<input type="checkbox"/> 二等辺三角形，正三角形を作図することができる。
	<input type="checkbox"/> 角の用語とその意味を知り，二等辺三角形，正三角形の角の大きさがわかる。
思・判・表	<input type="checkbox"/> 円の半径を使っていろいろな三角形をかいたとき，それが二等辺三角形であることを定義をもとに説明することができる。
	<input type="checkbox"/> 円を使って，正三角形をかく方法を定義をもとに説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 辺の長さや角の大きさに着目して，二等辺三角形や正三角形の性質を考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	<input type="checkbox"/> 辺の長さに着目して，二等辺三角形，正三角形の用語とその定義を理解している。
	<input type="checkbox"/> 辺の長さに着目して，二等辺三角形，正三角形を弁別している。
	<input type="checkbox"/> コンパスを使って，二等辺三角形を作図している。
	<input type="checkbox"/> コンパスを使って，正三角形を作図している。
	<input type="checkbox"/> 角の用語とその意味を理解している。
	<input type="checkbox"/> 二等辺三角形の2つの角の大きさは等しいことを理解している。
	<input type="checkbox"/> 正三角形の3つの角の大きさは等しいことを理解している。
思・判・表	<input type="checkbox"/> 円の半径を使ってかいた三角形が，二等辺三角形であることを定義をもとに説明している。
	<input type="checkbox"/> 円の半径を使って，正三角形のかき方を考え，その方法を定義をもとに説明している。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 辺の長さや角の大きさに着目して，二等辺三角形や正三角形の性質を考え，説明している。
	<input type="checkbox"/> 形も大きさも同じ二等辺三角形や正三角形をすき間なく敷き詰めた模様の中から，大きさのちがう二等辺三角形や正三角形をみつけている。

単元(題材名)	18. ぼうグラフと表	
主領域/領域/内容の区分	D データの活用	

### 【到達目標】

知・技	○ 「正」の字を使って数量を調べ、その結果を表に整理して考察することができる。
	○ 棒グラフのしくみを知り、棒グラフを読み取ることができる。
	○ 棒グラフの表し方を知り、資料を見やすい棒グラフに表すことができる。
	○ 2つの棒グラフを組み合わせたグラフに表すことのよさがわかる。
	○ 資料を分類整理し、二次元表に表すことのよさがわかる。
思・判・表	○ 2つの棒グラフを組み合わせたグラフを作成し、その特徴を考察することができる。
	○ 資料を分類整理し、二次元表に表して資料の特徴を考察することができる。
	○ 表やグラフを用いて、資料の特徴を考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自ら観点を決めて資料を分類整理し、棒グラフや二次元表に表そうとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 「正」の字1つが5を表すことを理解し、「正」の字を使った記録を表にまとめている。
	○ 数が少ないものは「その他」にまとめるとよいことを理解している。
	○ 棒グラフの用語とその意味を理解している。
	○ 棒グラフでは、数が大きい順に並べると、大きさが比べやすくなることを理解している。
	○ 時系列の順に表した棒グラフのよさを理解している。
	○ 棒グラフのかき方を理解し、棒グラフに表している。
	○ 2つの棒グラフを組み合わせたグラフの読み方や表し方を理解している。
	○ 1目盛りの大きさに気をつけながら、様々な表を棒グラフに表している。
	○ 複数の表を見やすくするために、二次元表にまとめるよさを理解している。
思・判・表	○ 時系列の順に表した棒グラフのよさを考えている。
	○ 資料の最大値とグラフ用紙の大きさから、グラフの1目盛りの大きさを考えている。
	○ 2つの棒グラフを組み合わせたグラフから、資料の特徴を考えている。
	○ 二次元表から資料の特徴を考えている。
	○ 表やグラフを用いて、資料の特徴を考察している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自ら観点を決めて資料を分類整理し、棒グラフに表している。
	○ 自ら観点を決めて資料を分類整理し、二次元表に表している。

単元(題材名)	そろばん	
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	

### 【到達目標】

知・技	○ そろばんの構造や各部の名称を理解し、そろばんによる数の表し方がわかる。
	○ そろばんで2位数どうしの加減計算や万の位の加減計算、1/10の位の小数の加減計算ができる。
思・判・表	○ そろばんのしくみに着目し、万の位や1/10の位の小数の加減計算の方法を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ そろばんを使った計算のよさに気づき、加減計算に用いようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ そろばんの構造や各部の名称を理解し、そろばんによる数の表し方を理解している。
	○ そろばんで2位数どうしの加減計算や万の位の加減計算、1/10の位の小数の加減計算をしている。
思・判・表	○ そろばんのしくみに着目し、万の位や1/10の位の小数の加減計算の方法を考え、説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ そろばんによる計算のよさを学習感想に書いている。

単元(題材名)	3年のふくしゅう	
主領域/領域/内容の区分	A~D	

**【到達目標】**

知・技	○ 既習内容の理解を確認する。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	

**【評価規準】**

知・技	○ 既習内容について解決の仕方を理解し、問題を解決することができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	